

1 基本情報

施設名称	こども本の森中之島
施設所管課・担当	経済戦略局文化部文化課
条例上の設置目的	・子ども等に対し、文学を中心とした良質で多様な芸術文化等に触れる機会を提供すること
業務の概要	・施設の管理運営業務 ・子どもを対象とした芸術文化に関する事業の実施 ・施設の情報発信及び集客、利用促進、ファン獲得業務 他
成果指標	来館者数、来館者満足度
数値目標	来館者数130,000人以上、来館者満足度80%以上
指定管理者名	TRC & 長谷工 meet BACH 構成員：株式会社図書館流通センター、有限会社BACH、株式会社長谷工コミュニティ
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	来館者数	来館者満足度
数値目標	130,000	80.0%
年度実績	151,199	99.0%
達成率	116.3%	123.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
来館者数	151,199	130,793	20,406
来館者満足度	99.0%	97.0%	2.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	62,584,000	50,000,000	0	
	計画	62,584,000	50,000,000		
利用料金（使用料）収入	実績	581,700	0	581,700	
	計画	0	0		
自主事業収入	実績	33,998,710	13,574,513	13,998,710	オリジナルグッズの売上増による増
	計画	20,000,000	42,000,000		
その他収入	実績	1,692,420	1,859,085	-1,607,580	もりのこ基金含む寄附金の予算未達による減
	計画	3,300,000	0		
合計	実績	98,856,830	65,433,598	12,972,830	
	計画	85,884,000	92,000,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	35,510,402	36,291,254	-9,751,598	人件費抑制による減
	計画	45,262,000	28,400,000		
物件費	実績	21,763,585	18,799,374	-439,415	
	計画	22,203,000	17,100,000		
修繕費	実績	678,700	357,830	154,700	
	計画	524,000	300,000		
自主事業支出	実績	33,668,549	17,481,084	22,288,549	オリジナルグッズの売上増による原価増
	計画	11,380,000	32,000,000		
その他支出	実績	5,050,997	5,373,516	-1,464,003	事業経費抑制による減
	計画	6,515,000	4,200,000		
合計	実績	96,672,233	78,303,058	10,788,233	
	計画	85,884,000	82,000,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
来館者数	116.3%	A	万博の効果もあって、来館者は過去最高となった
来館者満足度	123.8%	S	非常に高い来館者満足度を達成している

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
普段の業務の中でもスタッフ全員がコスト削減意識及び業務効率化を推進した業務運営を行っている	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	A	5周年記念事業の実施、台湾文化部との協働による文化交流イベントの実施など、来館者が芸術文化に触れる機会となるようなイベントを実施した
施設の有効利用	A	「今日だけはおとな本の森」を企画し、こどもだけでなく大人向けに特別開館し、本の森サポーターを獲得するイベントを実施する等、施設の有効利用について、本市が求める水準以上の成果が得られた。
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

施設を利用された方向けに実施したアンケートによると、99%の方が満足しているとの回答を得た。来場の目的は、「こどもに本を読ませるため」が最も多く（23%）、次いで「建築に興味があるため」が22%という結果であった。来館回数は「今回が初めて」の回答が64%であった。「こどもの想像力・好奇心を育む」といった施設本来の目的で来館されている方が多い。
--

6 外部専門家意見

・万博の機会を捉えたイベント内容に工夫されており、またその他独自性のあるイベントを実施した結果、施設の利用者増や来館者満足度向上に寄与した点は評価できる。 ・来館者の居住地、年代などの属性をアンケート等で把握し、新規、リピーター、15歳以上の層など、各層を意識したイベントや施策に取り組まれたい。 ・落下物など未然のトラブル抑止に向け、継続的な職員研修、教育に取り組まれたい。チェックリストの活用も有効。 ・本の森に慣れ親しんだ子ども達を読み聞かせ等のボランティアスタッフに参画することで、地域に根ざした人材育成や本の森ファン獲得に繋がるのではないかな。 ・色んな事情を抱える子ども達にも届くように、引き続きアウトリーチ事業に取り組まれたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	A	2025年4月から開始したサポーター制度「もりのこ基金」や「おとな本の森」の企画、並びに万博の機会に乗じた文化交流イベントの実施など、本市の想定した以上の効果が得られた。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	成果指標の達成状況などをふまえると、本市が求める水準を上回った事業運営を行っていると評価する。特に満足度調査において、非常に高い満足度を獲得している。